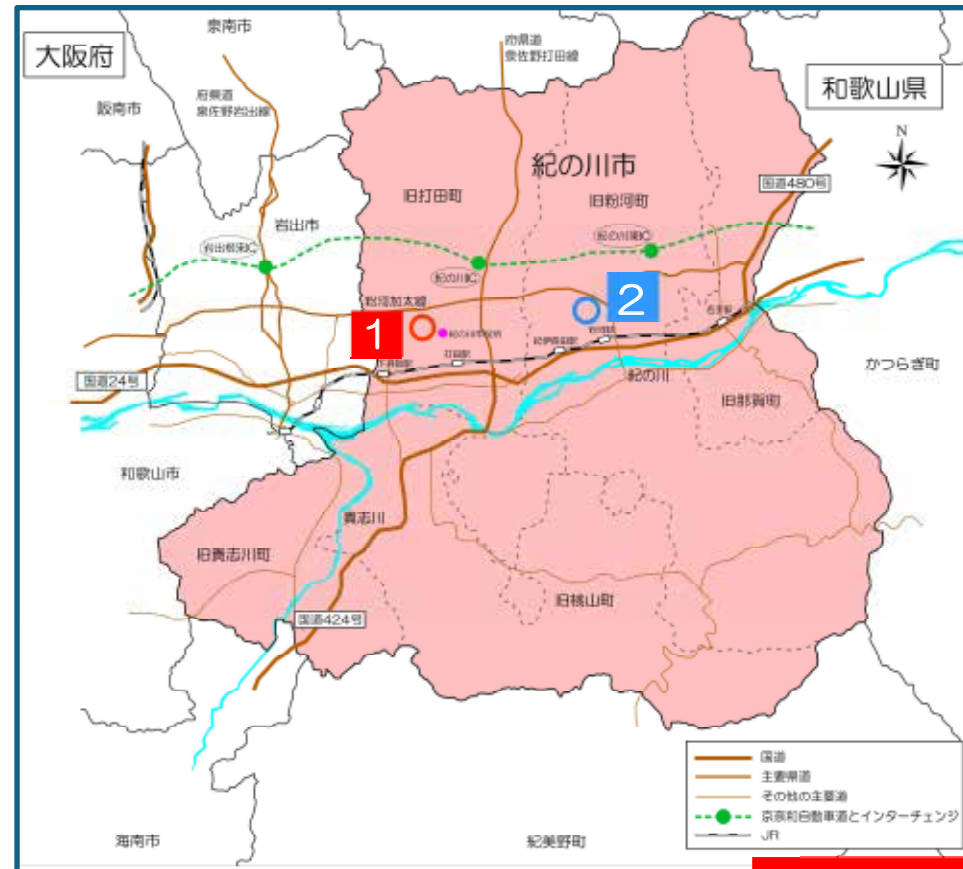


紀の川市 内水ハザードマップ (都市下水路)

全体索引図



凡 例

- 1 古和田地区
- 2 粉河地区



■内水浸水（内水氾濫）とは

- 「内水浸水（ないすいしんすい）」または「内水氾濫（ないすいはんらん）」とは、大雨・豪雨時の雨水に対して側溝、排水路、雨水管渠等の排水機能が追いつかず、処理しきれない雨水で土地や建物が水に浸かってしまう現象のことです。
- 「内水」とは、主に市街地内（堤内）の土地、建物、道路などに降った雨水を意味します。市街地は、道路が舗装されているところが多く、雨水が地面に浸透しにくいいため、大雨が降るとすぐに従来の排水能力を上回ってしまい、内水浸水（内水氾濫）が起こりやすいといわれています。



■内水ハザードマップとは（都市下水路）

- 「内水ハザードマップ」とは、大雨が降った場合に内水浸水（内水氾濫）の発生が想定される区域、浸水深、避難所等を示したマップです。今回、紀の川市内の「都市下水路」が建設されている古和田地区と粉河地区（左図参照）を対象として「紀の川市 内水ハザードマップ（都市下水路）」を作成しました。
- この図は、令和6年度末時点の整備状況において、**想定最大規模降雨**[※]を用いて内水浸水（内水氾濫）が発生した場合に想定される浸水状況を、シミュレーションにより予測したものです。
- ※「想定最大規模降雨」とは、過去に経験のない程の強い雨（1 時間雨量 147mm）を想定したものです。この雨量は国が定める基準（H27.7.17 国土交通省告示 第 869 号）における近畿地方の値です。
- シミュレーションの実施にあたっては、河川（紀の川、貴志川、春日川、中津川等）が破堤または溢水した場合の氾濫、落葉やごみ等が都市下水路等に詰まったことによる浸水等を考慮していないため、洪水の状況により浸水区域や浸水深が異なる場合があります。